

# ウツクシマツ情報局



令和4年度 第6号

ウツクシマツ自生地で三雲小学校6年生の子どもたちが落ち葉掻きをしました

12月19日（月曜日）に三雲小学校の6年生の子どもたちが平松のウツクシマツ自生地で落ち葉掻きをしました。

三雲小学校は今年、学校団としてみどりの少年団に加盟しました。加盟した初年度のみどりの少年団活動として、6年生の児童が平松のウツクシマツ自生地を守る取り組みをしました。

まず、子どもたちに事前学習としてウツクシマツを知ってもらうための講習があり、講師にウツクシマツ自生地をよく知っていて、ウツクシマツ以外の樹木にも精通している滋賀県樹木医会の樹木医の資格を持つ方をお呼びして、ウツクシマツについて学習しました。

子どもたちは実際にマツの葉を触ってアカマツとクロマツの違いを知り、またウツクシマツ自生地を守るためにどのような活動がされているかを学びました。



講習の様子

マツの葉の現物を使った学習





ウツクシマツの講習を聞いたあとは、ウツクシマツ自生地へ移動し、自生地内で落ち葉掻きを体験しました。

子供たちはウツクシマツ自生地内で分かれて、自生地内のウツクシマツを含めた自然環境にふれあいながら落ち葉を集めました。

集めた落ち葉は90リットルのポリ袋が30袋以上一杯になるほどでした。

かなりの量を子どもたちは集めました。まだこれでも自生地の一部に過ぎず、この自生地全体の落ち葉を、昔は地元の人が集めて自生地をきれいにしていたので、昔の地元の人々の苦労は相当なものだったかと思えます。

ただし、作業は子どもたちでも協力すればできることです。多くの方が協力して自生地をきれいな状態にすることが自生地を昔のような姿に戻す第一歩なので、ウツクシマツ再生室としても自生地の環境を改善する取り組みを進めます。



落ち葉掻きの方法を学習

落ち葉掻き体験



集めた落ち葉

